

## 第25回 日本社会福祉士会・全国大会社会福祉士学会(福島大会)分科会 スケジュール表

会場	コンベンションルームB(1F)	マルチパーパスルーム2(1F)	中会議室A(3F)	小会議室2・3(3F)	小会議室1(3F)	
分科会	<b>権利擁護</b>	<b>生活構造</b>	<b>相談援助・実践研究1</b>	<b>地域支援</b>	<b>福祉経営</b>	
進行	福田 幸夫	成田 すみれ	岡田 多恵子	稲嶺 裕子	梅木 幹司	
9:25~9:30	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	
1	9:30~10:00	社会福祉士として障害者の創作活動に関わる際の権利擁護の視点 ～アートが社会を変える、社会がアートを変える～	愛媛県社会福祉士会における災害支援活動 ～東日本大震災以降の取組み～	社会福祉士の専門性と業務実態に関する研究 ～宮崎県社会福祉士会アンケート調査から～	スモン検診における多職種による社会福祉士の参加の意義 ～スモン被検診者の社会心理的負担軽減へのアプローチ～	相談支援専門員における業務環境の把握と考察 ～バーンアウトと要因の関連性から～
		谷内 孝行(東京) 《共同研究者》 白井 信光 松谷 暁子	宇都宮 理子(愛媛) 《共同研究者》 久幾田 勢子	日田 剛(宮崎) 《共同研究者》 川崎 順子	高橋 美和(徳島) 《共同研究者》 郡 章人 桑内 敬子 島 治伸 三ツ井 貴夫	篠田 誠(神奈川)
休憩 5分						
2	10:05~10:35	児童虐待防止のためのケアマネジメントによるソーシャルワーク実践	離島でのソーシャルワーク実践について ～A島で展開されたソーシャルワーク機能に着目して～	介護支援専門員と医療ソーシャルワーカーの連携に関する研究 ～継続的ケアマネジメントシステムの構築のために～	子ども・若者の居場所における食事の提供支援について ～食事を通じた関わりが子どもたちにもたらすもの～	介護現場のストレスを介護の魅力に変える職員間コミュニケーションの工夫
		森合 真一(兵庫)	渡部 隆介(愛媛)	廣兼 利江子(広島)	岡 広美(香川)	藤井 薫(東京) 《共同研究者》 山口 麻衣
休憩 5分						
3	10:40~11:10	認知症高齢者の金銭管理を支援するための銀行との連携について ～銀行での実態調査と連携及び教育に向けた検討～	介護者支援におけるアセスメントツールの開発 ～介護者の生活ニーズに対応するケアマネジメントの展開に向けて～	社会福祉実践者が行う実践研究の意義と課題 ～社会福祉法人が行う実務研究発表会の発表者へのアンケート調査の結果から～	若者の居場所9年目を振り返る ～利用者アンケートから見たこと～	虐待・DV等に関する市民の意識と実態についての考察 ～市民と行政職員との認識の差からとらえる政策分析・政策立案～
		上林 里佳(京都) 《共同研究者》 成本 迅	相山 馨(富山) 《共同研究者》 寺本 紀子 加藤 和美 茂古沼 江里	酒寄 学(茨城) 《共同研究者》 宇留野 功一 宇留野 光子 渡邊 久実 佐野 千尋	杉田 みゆき(新潟) 《共同研究者》 藤田 健男	池澤 健嗣(茨城)
休憩 15分						
4	11:25~11:55	セルフ・ネグレクト状態にある独居高齢者支援プロセスについて ～地域包括支援センターの社会福祉士を対象としたインタビュー調査に基づく考察～	移住外国人女性の母国でのライフヒストリーと来日後の生活課題との関連に関する研究 ～福祉的課題を抱えた女性へのインタビューより～	他専門職への相談を希望する生活保護ケースワーカーが抱える問題とは ～OJTの結果からの考察～	高齢者施設における高齢知的障害者の現状と課題 ～A県における高齢者施設の調査結果から～	働く個人の生活と仕事の調和を支援する産業ソーシャルワーカーの可能性 ～「働く個人」と「地域」から「組織の課題」を発見する調査～
		清水 聖子(神奈川)	南野 奈津子(千葉)	杉田 貴行(大阪)	中島 賢二(栃木) 《共同研究者》 松永 千恵子	野垣 美由紀(東京)
休憩 5分						
5	12:00~12:30		知的障害者の地域生活支援を支える課題 ～家族・地域を含んだ包括的相談の重要性への認識～	意思決定支援における医療ソーシャルワーカーの役割 ～発病により仕事と住まいを同時に失ったクライアントへの支援を通して～	地域資源創出やネットワーク構築を実現している地域ケア会議のプロセス ～地域ケア会議担当専門職へのインタビュー調査から～	青森県内の医療ソーシャルワーカーが抱える課題に関する調査研究 ～現状と仕事上の満足度に焦点を当てて～
			市原 明子(石川)	佐々木 美音(岩手)	鈴木 智子(千葉)	中村 直樹(青森) 《共同研究者》 工藤 雄行 権元 通武 今 栄利子

会場	中会議室B(3F)	研修室(3F)	コンベンションルームA(1F)
分科会	<b>実践研究2</b>	<b>自主企画シンポジウム</b>	<b>福島特別分科会</b>
進行	虹釜 和昭	吉田 光子	森 美樹
	9:25~9:30	オリエンテーション	オリエンテーション
1	9:30~10:00	当院における退院調整システムとMSWの役割 岡本 智里 (兵庫)	9:30~12:30 《シンポジウム》 罪を犯した高齢者・障害者が帰れる地域づくりのために、社会福祉士には何ができるのか ~入口支援、出口支援、定着支援、生活支援、そして新たな地域づくりへ~  ○コーディネーター 小林 良子 (東京)
		9:30~12:30 《テーマ》 「福島県のソーシャルワーカーと専門職団体の実践から考える」 ~大規模災害時、私たちは何をしてくて、これから何ができるのか~  ○司会 森 美樹	
休憩 5分			
2	10:05~10:35	精神科病棟の退院支援分析からの一考察 吉田 真理 (岩手)	○コメンテーター 松友 了  ○シンポジスト 小川 弘子 西野 美幸 谷井 亜希子 安達 弘和
		○発言者 斎藤 研一 千葉 喜弘 渡辺 幸雄 平瀬 朱美 八代 千賀子 岡崎 可奈子 松崎 暁世	
休憩 5分			
3	10:40~11:10	自閉症スペクトラム障害児者の当事者会活動支援の現場に関する一考察 一発達障害者支援センターにおける「スペシャリストの会」の支援活動の実践から一 植木 是 (三重)	
休憩 15分			
4	11:25~11:55	災害により住み慣れた地域を離れて暮らさざるを得なくなった人々への支援 一長期化した避難生活での深刻な課題に本人と共に取り組むソーシャルワーク実践一 長塩 礼子 (埼玉) ≪共同研究者≫ 埼玉県社会福祉士会被災者支援委員会	
休憩 5分			
5	12:00~12:30	職能団体が行う災害支援のあり方を考える 一熊本県社会福祉士会、会員調査結果から一 小阪 勝己 (熊本) ≪共同研究者≫ 窪田 寛史、川崎 悦子 小柳 久美子、高濱 洋一 高木 啓次	